

2021年11月10日

2022年3月期  
(第2四半期累計期間)  
連結決算説明資料

双葉電子工業株式会社

---

● 当社製品セグメントの説明	P1
● 業績ダイジェスト	P2
● 市場地域別売上高	P3~4
● セグメント別業績状況	P5~6
● 四半期別業績分析	P7
● 連結貸借対照表の状況	P8
● 業績見通し	P9~10
● 上期 新製品紹介	P11
● 上期 外部発信の取り組み	P12
● 下期の経営施策	P13~14

---

# 当社製品セグメントの説明

## 電子デバイス関連事業

- タッチセンサー** : 独自の薄膜技術を応用し、高感度で耐環境性に優れたセンサーデバイス
- 有機 E L ディスプレイ** : コントラストが高く、高精細の美しい画面が魅力の表示デバイス
- 蛍光表示管** : 自発光で視野角も広く、暗所でもくっきり表示できる視認性に優れた表示デバイス
- 複合モジュール** : 表示デバイスにコントロール基板を組合せたディスプレイモジュール等  
EMS(電子機器の受託製造)も行っている
- 産業用ラジコン機器** : トラッククレーンや農薬散布用ラジコンヘリ、ドローンなどを遠隔操作する無線リモコン等
- ホビー用ラジコン機器** : 双方向通信機能を搭載した高性能な送受信機、サーボ等

タッチセンサー



有機 E L ディスプレイ



蛍光表示管



複合モジュール



産業用ラジコン機器



ホビー用ラジコン機器



## 生産器材事業

- プレス金型用器材** : 金属プレス加工に用いる金型用のダイセット、パーツ等
- モールド金型用器材** : 樹脂成形に用いる金型用のモールドベース、金型等
- プレート製品** : 金型用途や機械設備、治工具の設計・製作に最適なプレジジョンプレート等
- 成形・生産合理化機器** : モールドマーシャリングシステム、ホットランシステム、工作機械IoTモニタリングシステム等、生産工程の合理化を進める製品

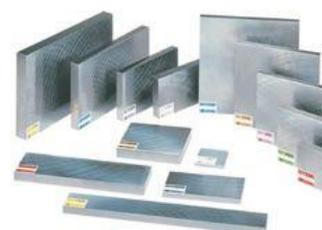
プレス金型用器材 (ダイセット)



モールド金型用器材 (モールドベース)



プレート製品



成形・生産合理化機器 (モールドマーシャリングシステム)



## 業績ダイジェスト

- 主として、新型コロナウイルス感染症影響(以下、新型コロナ影響)からの回復により増収
- 半導体の需給逼迫の影響により、△12億円の減収 △5億円の減益

	FY2020/2Q (実績)	FY2021/2Q (実績)	増減額 (前年同期比較)
売上高	22,922	<b>26,190</b>	3,267
売上総利益	3,537	<b>4,597</b>	1,059
利益率(%)	(15.4)	<b>(17.6)</b>	
営業利益	△2,037	<b>△788</b>	1,249
利益率(%)	(△8.9)	<b>(△3.0)</b>	
(為替差損益)	(△287)	<b>(△70)</b>	(216)
経常利益	△1,924	<b>△483</b>	1,440
利益率(%)	(△8.4)	<b>(△1.8)</b>	
四半期純利益 <sup>※</sup>	△2,992	<b>△1,189</b>	1,802
利益率(%)	(△13.1)	<b>(△4.5)</b>	
平均為替レート	107円/\$	<b>110円/\$</b>	3円/\$
期末日為替レート	106円/\$	<b>112円/\$</b>	6円/\$

## 当期の特徴 (前年同期比較)

**売上高(増収)**

新型コロナ影響からの需要回復により、生産器材や複合モジュール、産業用ラジコン機器などが好調に推移したことにより増収

**営業利益(赤字縮小)**

主として、売上高が回復したことにより、赤字縮小

**経常利益(赤字縮小)**

営業損失の縮小に加え、為替差損の減少により赤字縮小

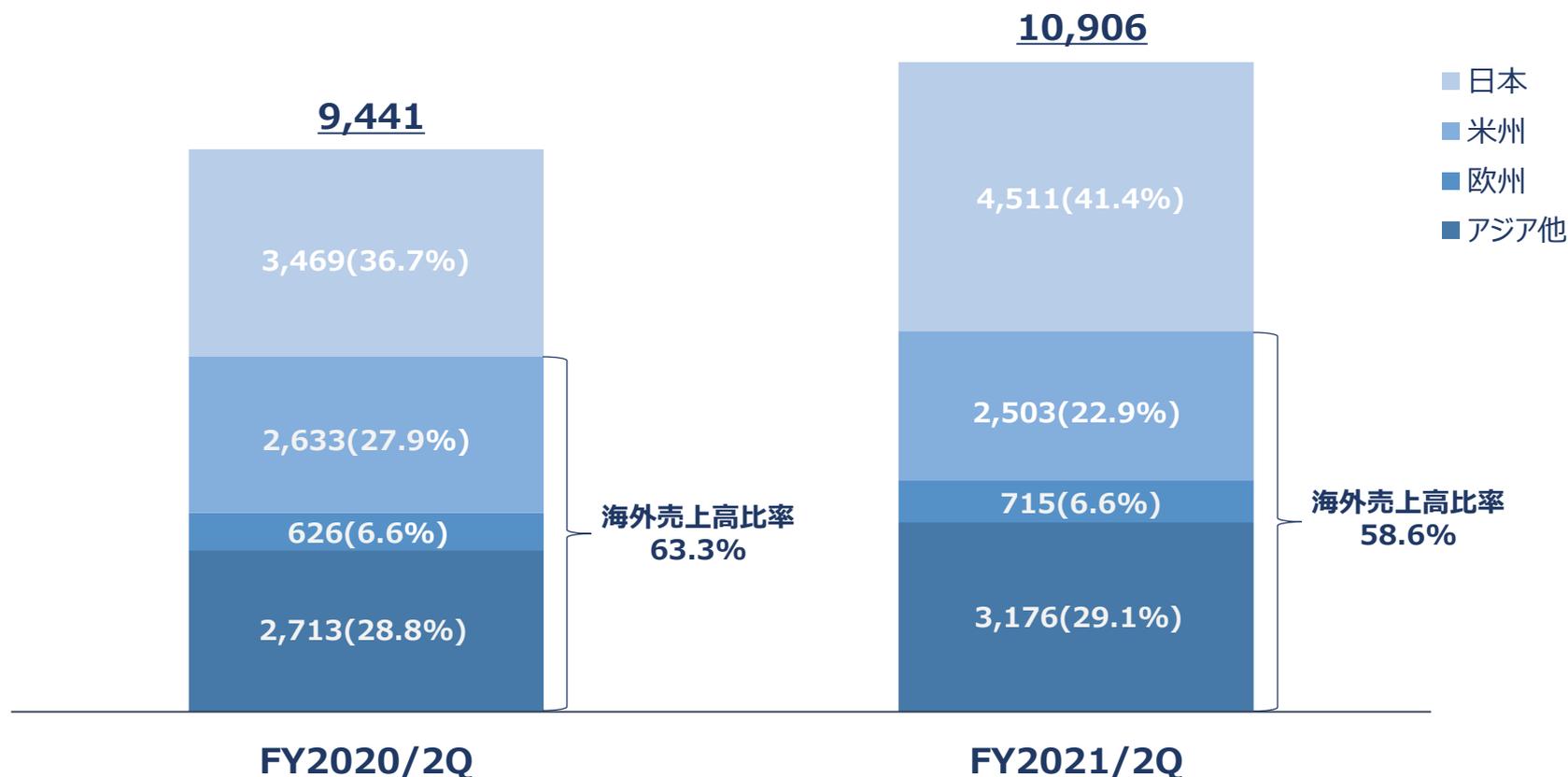
**四半期純利益(赤字縮小)**

固定資産売却益や投資有価証券売却益の計上および特別損失の減少により赤字縮小

※ 四半期純利益とは、親会社株主に帰属する四半期純利益を指しています。

# 市場地域別売上高/電子デバイス関連

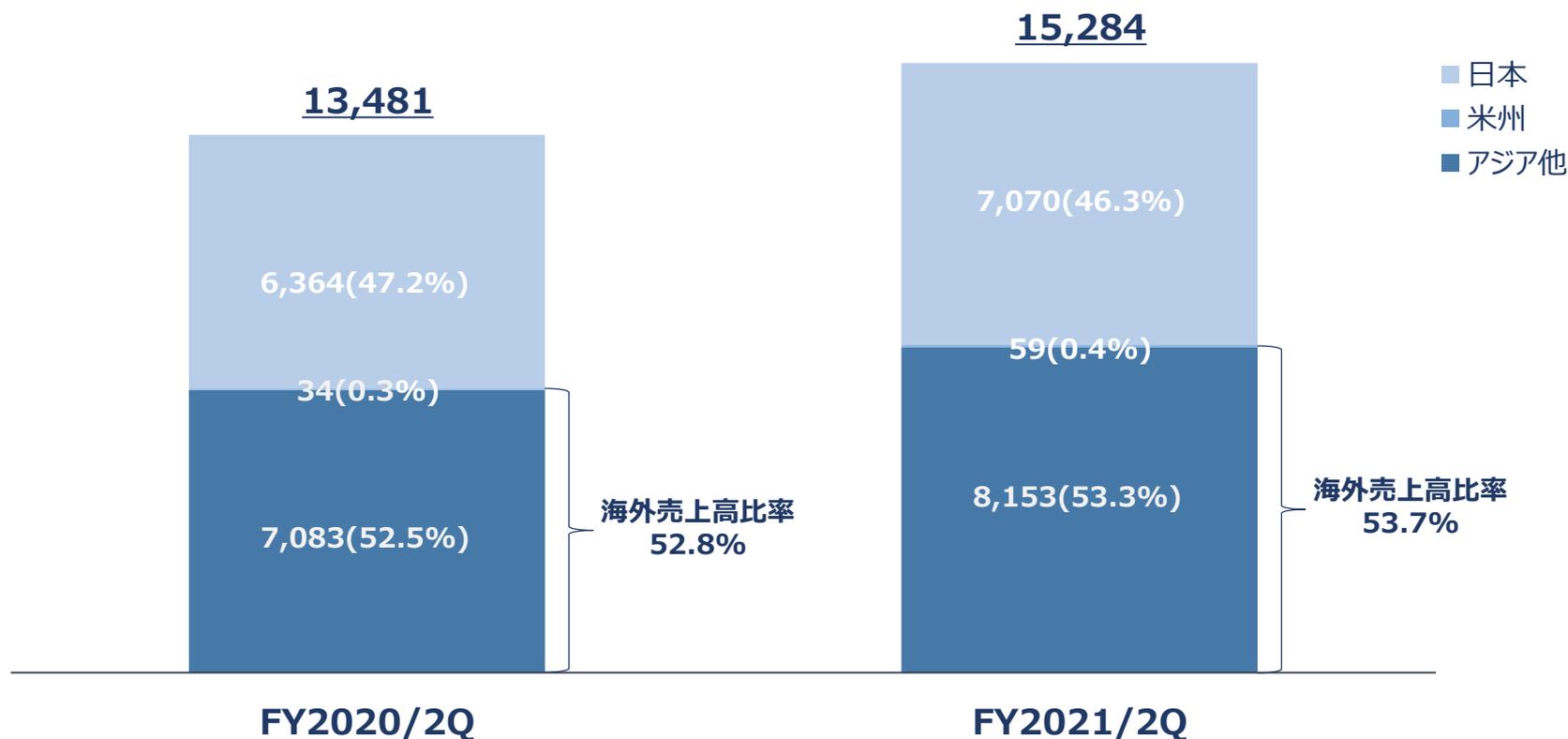
- ▶ 日本 : 複合モジュールや産業用ラジコン機器において、新型コロナ影響からの受注回復により大幅に増加
- ▶ 米州・欧州 : 複合モジュールの受注回復があったものの、半導体需給逼迫の影響を受けたことにより横ばいで推移
- ▶ アジア他 : タッチセンサーにおいて車載向けの新品種の量産開始や新型コロナ影響からの受注回復により増加
- 海外売上高比率 : 日本向け売上高が大幅に増加したことにより、△4.7ポイント減少



(注) 1.(.)内の数字は、売上高全体に対する構成比を表しています。  
 2.本ページ記載の売上高は内部取引を含んでいません。

# 市場地域別売上高/生産器材

- ▶ 日本 : 主として、設備投資関連の市場が回復したことにより増加
- ▶ アジア他 : 主力の韓国市場において需要が回復傾向に転じたことに加え、為替が円安となったことにより増加
- 海外売上高比率 : 韓国を中心に増収となり、+0.9ポイント増加



(注) 1.()内の数字は、売上高全体に対する構成比を表しています。  
 2.本ページ記載の売上高は内部取引を含んでいません。

# セグメント別業績状況/電子デバイス関連

## 営業利益差異分析

	2Q		増減額	増減率
	FY2020	FY2021		
売上高	9,445	<b>10,913</b>	1,468	15.5%
営業利益	△1,895	△ <b>1,342</b>	553	-



### ● 売上高

#### ▶ タッチセンサー(増収)

海外での車載用途需要が回復したことにより、増収

#### ▶ 有機ELディスプレイ(減収)

海外での事務機用途や映像用途は好調に推移したものの、車載用途において、顧客の半導体不足による生産調整の影響を受けたことや、Wi-Fiルータ向けの需要が落ち込んだことにより、減収

#### ▶ 複合モジュール(増収)

国内での事務機用途および計測器用途が好調であり、増収

#### ▶ 産業用ラジコン機器(増収)

トラッククレーン向けやFA向け、医療関連向けが好調に推移したことにより、増収

#### ▶ ホビー用ラジコン機器(増収)

需要が横ばいで推移したことにより、前年同期並み

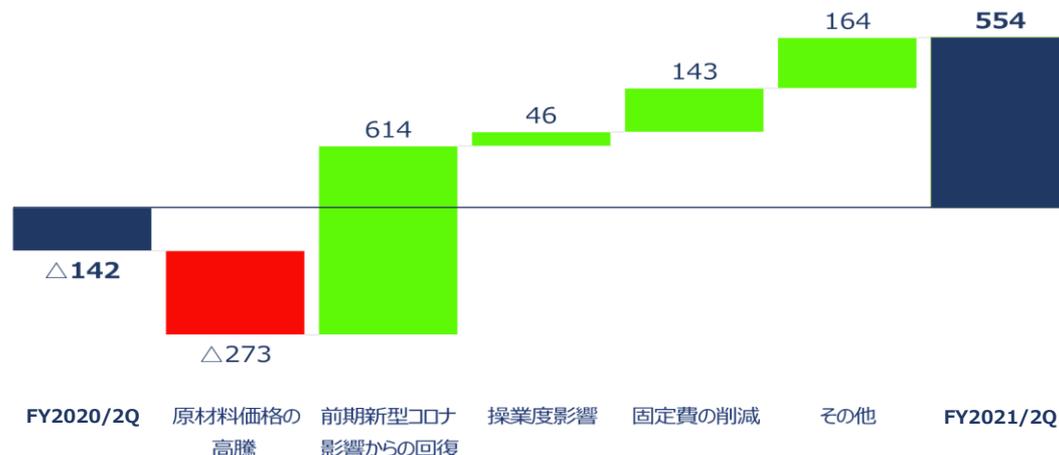
### ● 営業利益

半導体の需給逼迫による影響を受けたものの、増収に伴う操業度の良化により、赤字幅が縮小

# セグメント別業績状況/生産器材

営業利益差異分析

	2Q		増減額	増減率
	FY2020	FY2021		
売上高	13,486	<b>15,294</b>	1,808	13.4%
営業利益	△142	<b>554</b>	696	-



## ● 売上高

### ▶ 国内(増収)

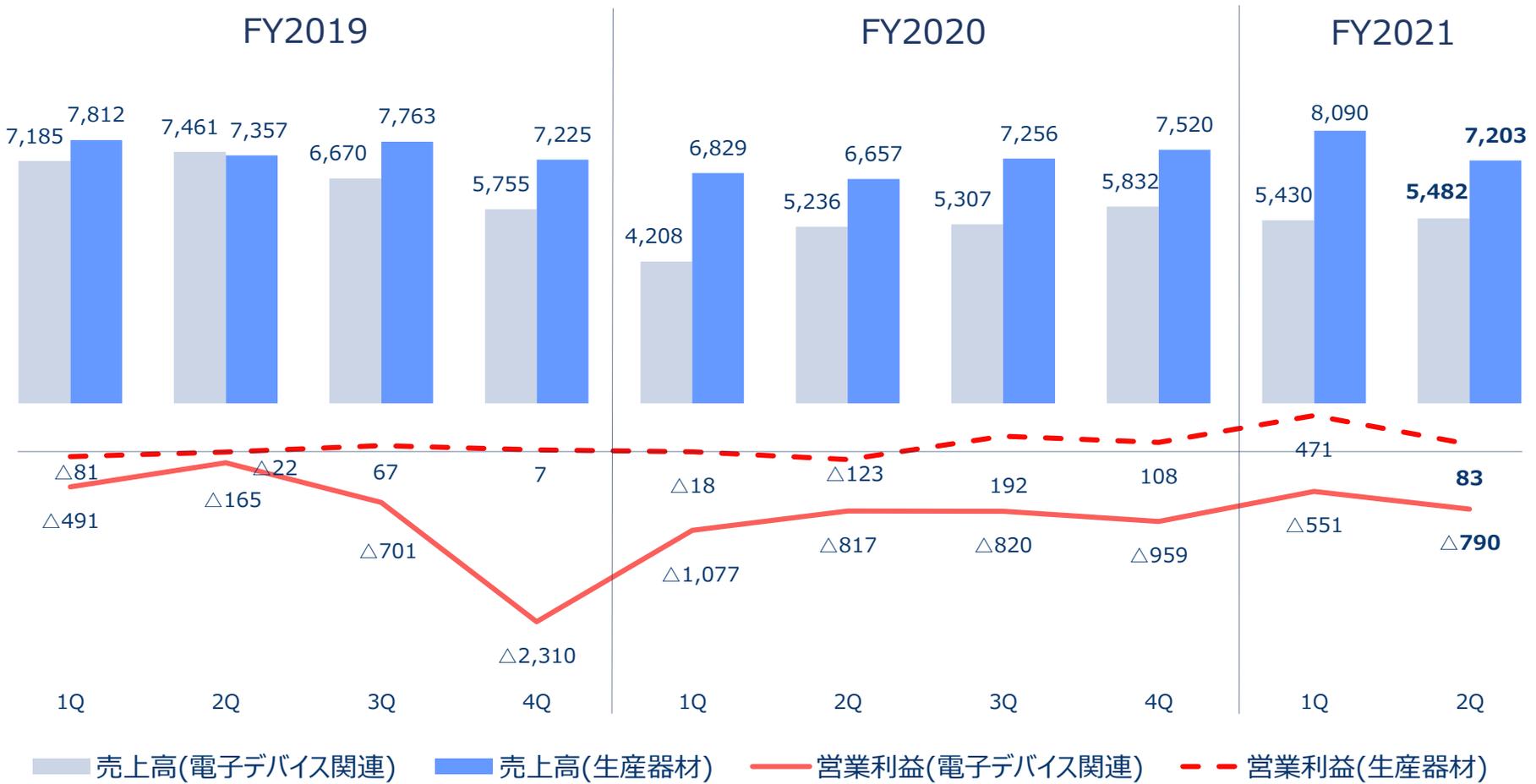
自動車関連において、半導体不足による減産の影響を受けたものの、設備投資関連の市場が回復してきたことから、モールドおよびプレス金型用器材やプレート製品が好調に推移。また、成形・生産合理化機器も堅調であり、増収

### ▶ 海外(増収)

主力の韓国において、景気の持ち直しから需要が増加し、為替も円安に推移した影響を受けたことから、増収

## ● 営業利益

原材料価格の高騰があったものの、増収に伴う操業度の良化や固定費の削減により、黒字化



▶ 売上高においては、FY2020/2Q以降緩やかな回復基調で推移していたものの、FY2021/2Qでは世界的な半導体などの部品不足の影響を受けたことから電子デバイス関連は伸び悩み、生産器材は減収に転じた。この減収影響に加え、原材料価格の高騰もあったことから、営業利益は悪化した。

# 連結貸借対照表の状況

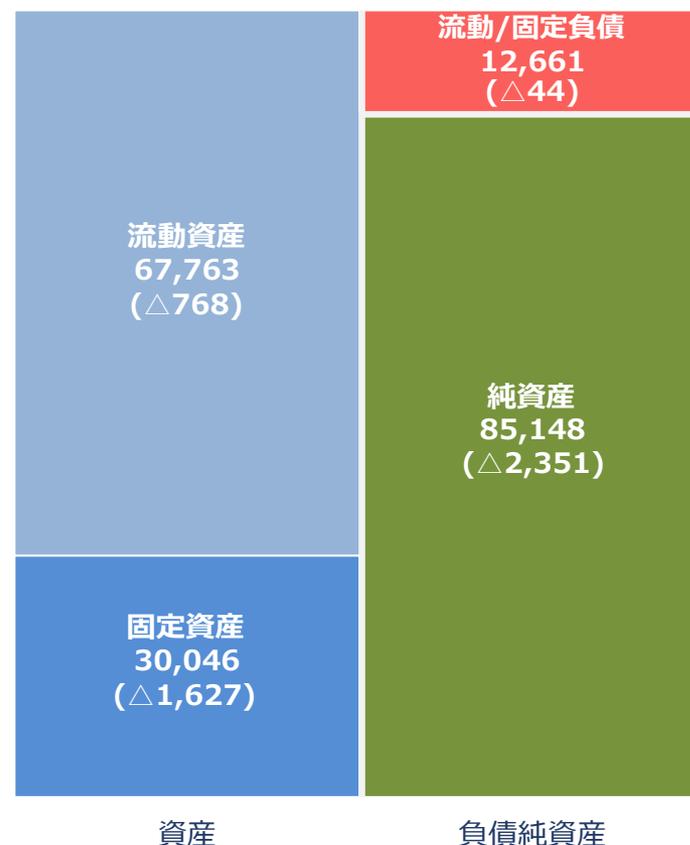
## 【主な増減要因】

- 現預金(原材料の増加、設備投資による支出)
- 棚卸資産(原材料の先行手配)
- 固定資産(投資有価証券の売却・償還)
- 自己資本(四半期純損失の計上)

- 自己資本比率 76.5%(前期末76.7%)
- 1株当たり純資産：1,763.57円  
(前期末：1,812.50円)

	FY2020/4Q	FY2021/2Q	増減額 (前期末比較)
現預金	40,829	<b>38,436</b>	△2,392
売上債権	14,902	<b>14,155</b>	△746
棚卸資産	11,787	<b>13,777</b>	1,990
その他流動資産	1,013	<b>1,394</b>	380
固定資産	31,673	<b>30,046</b>	△1,627
資産合計	100,206	<b>97,810</b>	△2,395
流動負債	9,150	<b>8,981</b>	△168
固定負債	3,555	<b>3,679</b>	124
自己資本	76,882	<b>74,806</b>	△2,076
非支配株主持分	10,618	<b>10,342</b>	△275
負債純資産合計	100,206	<b>97,810</b>	△2,395

## FY2021/2Q



(注) ()内記載の数字は、増減額(前期末比較)を表しています。

## 業績見通し(1)

	FY2020 (前期実績) (a)	FY2021 (前回計画) (b)	FY2021 (今回計画) (c)	増減額 (前回計画比) (c-b)	※ 増減額 (前期実績比) (c-a)
売上高	48,826	55,000	<b>53,500</b>	△1,500	4,673
連結合計 営業利益	△3,517	300	<b>△1,200</b>	△1,500	2,317
利益率(%)	(△7.2)	(0.5)	<b>(△2.2)</b>		
電子デバイス 関 連					
売上高	20,585	22,900	<b>22,500</b>	△400	1,914
営業利益	△3,675	△1,400	<b>△2,100</b>	△700	1,575
利益率(%)	(△17.9)	(△6.1)	<b>(△9.3)</b>		
生産器材					
売上高	28,263	32,100	<b>31,000</b>	△1,100	2,736
営業利益	158	1,700	<b>900</b>	△800	741
利益率(%)	(0.6)	(5.3)	<b>(2.9)</b>		
(為替差損益)	(△47)	(△382)	<b>(△174)</b>	(208)	(△126)
経常利益	△2,513	330	<b>△800</b>	△1,130	1,713
利益率(%)	(△5.1)	(0.6)	<b>(△1.5)</b>		
当期純利益	△5,430	△3,000	<b>△3,000</b>	—	2,430
利益率(%)	(△11.1)	(△5.5)	<b>(△5.6)</b>		
平均為替レート	106円/\$	105円/\$	<b>110円/\$</b>	5円/\$	4円/\$

## ＜計画の見直し理由＞

## ■ 売上高

## ＜電子デバイス関連＞

世界的な半導体不足の影響で生産調整を受けていることにより、減収見込み

## ＜生産器材＞

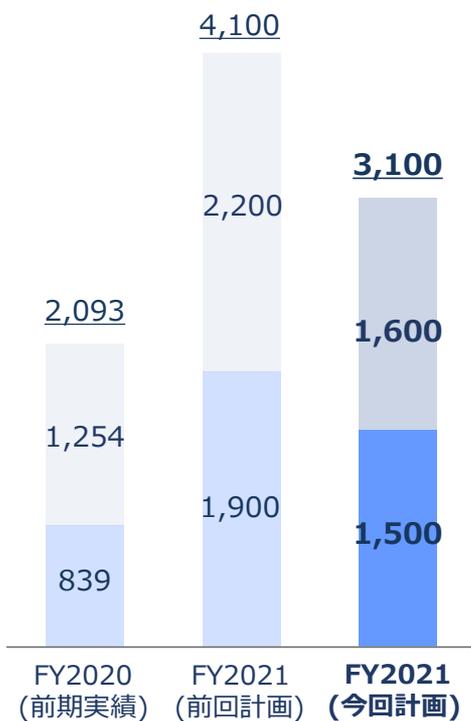
国内において、新型コロナウイルス感染症拡大や世界的な半導体不足で、金型市況の回復が遅れていることに加え、海外での新型コロナウイルス感染症拡大に伴うロックダウンの影響や、主力となる韓国経済の減速懸念により、減収見込み

## ■ 営業利益

売上高減少による操業度の低下および原材料価格が継続的に上昇していることにより、減益見込み

※参考値

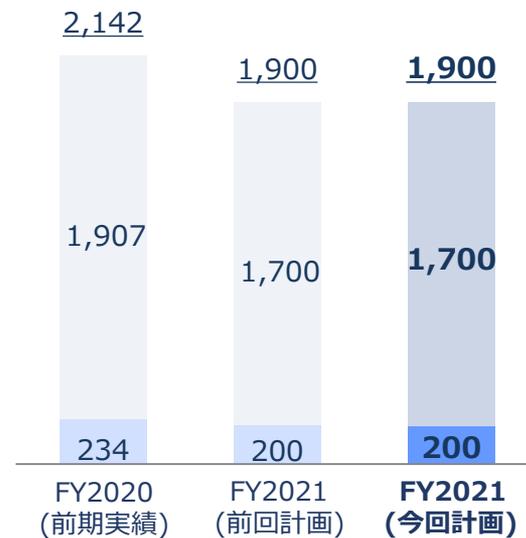
## 設備投資



## 減価償却費



## 研究開発費



■ 電子デバイス関連  
■ 生産器材

# 上期 新製品紹介

## 有機ELディスプレイ (ELF2001AA)



## ドローン運用管理システム

## ホビー用プロポ (T6K V3S)



## 成形・生産合理化機器

(NCベルトフィーダ) サツキ機材株式会社



### 【有機ELディスプレイ「ELF2001AA」】

高輝度・高精細な2インチサイズの民生用カラー有機ELディスプレイ製品を新たに開発。

用途は、IoT家電、ゲーミングデバイス(PC、キーボード)、医療機器などの小型サブディスプレイを想定しており、更なる小型表示にも対応できるようにラインアップを拡充していく。

[「ELF2001AA」リリースページ](#)

### 【ドローン運用管理システム】

クラウドサービスによるドローン運用管理システムを開発。

操縦者とドローン機体の両方が認証されて初めて飛行が可能となり、操縦者の操作記録と飛行ログを紐付けて管理することができる。(クオリティソフト株式会社と共同開発)

[「ドローン運用管理システム」リリースページ](#)

### 【ホビー用プロポ「T6K V3S」】

入門用のT6Kのマイナーチェンジを行ない、2.4GHzによる双方向通信システム(T-FHSS AIR)を採用。飛行機、ヘリ、マルチコプターだけでなく、グライダーの機能も強化。ベーシックモデルながら、無限に広がる可能性を追求できる高性能プロポ。

[「T6K V3S」製品ページ](#)

### 【搬送装置「NCベルトフィーダ」(サツキ機材株式会社)】

繰り返し精度や外観品質に課題のある、薄く柔らかな素材の材料供給に対し、搬送用ベルトと材料をグリッパで挟んで搬送することで、最適化を実現。異なる材料供給条件を組み合わせることができるマルチ運転機能を標準搭載しており、多彩な送り制御も可能。

[「NCベルトフィーダ」リリースページ](#)

# 上期 外部発信の取り組み

## 【ランディングページの開設】

### 工作機械IoTモニタリングシステム



工作機械IoTモニタリングシステムの特長

### フェルカーボ



### Roboservo (イプロスものづくり内)



## 【展示会への出展】

### ◎ Japan Drone 2021

2021年6月14日(月)～16日(水)

出展内容：

- 産業用ドローン、無人機用無線機(2.4GHz帯、920MHz帯)
- 無人機用サーボ、フルHD画像伝送装置
- UAV用エンジン、レンジエクステンダー (小川精機株式会社)



### ◎オートモーティブ ワールド (名古屋)

2021年10月27日(水)～29日(金)

出展内容：

- マルチデザインプレート、3D形状タッチセンサー
- 有機ELディスプレイ、Roboservo、フェルカーボ 他

### ◎ WEB新製品・サービス説明会

2021年7月26日(月)～8月6日(金)

出展内容：

- Roboservo、フェルカーボ



# 下期の経営施策

## ■ 全社関係

- ▶ SDGs・環境方針の基本理念の下、経営方針・施策のKPIとSDGsの目標等を関連付けて活動
- ▶ 多様な働き方が選択でき、一人ひとりがより良い将来の展望を持てる働き方改革を推進

## ■ 電子デバイス関連

### ● タッチセンサー

- ▶ 選択と集中による生産の集約で体質強化
- ▶ タッチセンサーを基軸とした顧客製品のアッセンブリーなど事業領域の拡大
- ▶ マルチデザインプレート、耐環境タッチセンサー、3D形状タッチセンサーなどの付加価値製品の拡販

### ● 有機ELディスプレイ

- ▶ モノづくりの原点に立ち返った生産体制の再構築による体質の強化
- ▶ フィルム製品、高輝度製品など、付加価値製品に特化した開発促進と技術的差別化による拡販

### ● システムソリューション

- ▶ 表示デバイスモジュールは既存のお客さまや用途により、必要とされる液晶モジュールや有機ELモジュールを個別提案によって拡販
- ▶ ドローン関連製品の開発を促進し、ハード製品を核にサービス事業への領域拡大と市場開拓
- ▶ 各種センサーと無線技術を融合させた製品の市場開拓
- ▶ 産業サーボは拡充したラインアップによりUAVだけでなく新用途でも売上拡大さらに「Roboservo」を中心とした用途開拓による市場創出
- ▶ グループ全体でのEMS事業の拡大と半導体等の材料調達難への対応

# 下期の経営施策

## ● ホビー用ラジコン機器

- ▶ 継続的な新商品の投入およびSNS等を活用した情報発信力の強化による市場の活性化とシェア拡大
- ▶ UAV/ドローンの航続距離延長を目的としたエンジン、スターター、発電機が一体となったシステム「レンジエクステンダー」の監視・観測・物流分野での産業用途への拡販

## ■ 生産器材

### ● 金型用器材・プレート製品

- ▶ グループ全体で多様化する市場要求に合わせ、合理的な生産体制を構築し、納期や品質、価格でお客さま満足度を向上
- ▶ BCPの観点から部品供給の安定化を図るとともに、適正価格への売価政策の実施
- ▶ WEB受注システムやオンデマンド受託製造サービスによるお客さまの購買や調達ご担当者さまの合理化支援サービスの強化
- ▶ CFRP製切削加工用厚板プレート「フェルカーボ」の新規顧客/用途開拓により、売上を拡大

### ● 成形・生産合理化機器

- ▶ 成形合理化商品(金型内計測システム、ホットランナシステム)の海外販売強化と売上構成比を拡大
- ▶ 新たな販売/マーケティングツールであるランディングページの充実やウェビナーのさらなる活用で、IoTモニタリングシステム等の拡販

1. 本資料に記載されている業績予想については、当社が現時点で入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいた見通しであり、為替などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。  
実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは異なる結果となり得る事をご承知おき下さい。
2. 本資料に記載されている金額は、百万円は単位未満を切り捨てし、億円は単位未満を四捨五入して表示しています。
3. 本資料に記載されている金額の単位は、注釈が無い限り百万円です。
4. 本資料に記載されている各セグメントの売上高および営業利益は、注釈が無い限り内部取引を含んでいます。
5. 本資料に記載されている当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を指しています。